

令和8年度 第1回学校運営協議会（公開版）

1 日時

令和8年6月2日（火）15:00～17:10

2 場所

岡山県立倉敷天城中学校・高等学校 コンベンションホール

3 出席者

学校運営協議会委員9名 学校関係者16名

4 概要

令和8年度第1回学校運営協議会を開催し、学校経営計画や教育活動の取組、教職員の勤務負担軽減、本校の魅力づくり等について協議を行いました。

開会にあたり校長から、本校が高等学校創立120周年、中学校創立20周年という節目の年を迎えたこと、本協議会を通して「地域とともにある学校づくり」を推進していきたいこと、また、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）先導的改革期の取組を充実させ、中高6年間を見通した探究的な学びの実現を目指していくことが説明されました。

5 協議事項

（1）令和8年度学校経営計画について

中学校・高等学校それぞれの学校経営計画及びグランドデザインについて説明を行い、委員から承認を得ました。

（2）令和8年度各課・年次団の具体的取組について

学校経営計画の実現に向けた各課及び学年・年次団の具体的な取組について説明を行い、委員から承認を得ました。

（3）令和8年度予算について

本年度の学校経営予算について説明を行いました。SSH事業に係る予算については、中高合同で行う課題研究や発表会、コンテストへの参加、実験器具の整備などに活用していることを説明し、委員から承認を得ました。

（4）令和9年度高等学校教科書選定方針について

教科書選定方針について説明を行い、委員から承認を得ました。

（5）教職員の勤務負担軽減について

教職員の勤務負担軽減に向けた現状と課題について説明を行いました。

協議では、

- ・部活動指導や教材研究、校務分掌などが時間外勤務の要因となっていること
 - ・学校行事や業務の見直しが必要であること
 - ・部活動指導員や外部人材の活用が重要であること
 - ・ICT やデジタルツールの活用による業務改善を進めていること
- などが共有されました。

また、教職員の健康管理については、勤務時間だけでなく、ストレスチェックや面談等を通じて状況把握に努めていることを説明しました。

さらに、AI の活用についても意見交換を行い、情報モラル教育の充実とともに、AI を適切に活用する力の育成が重要であることを確認しました。

6 本校の魅力づくりについて

SSH 先導的改革期の取組を中心に協議を行いました。

本校では、中高6年間を見据えた探究的な学びを推進しており、「楽しく深まる授業」の実現を目標に、中学校・高等学校の教員が連携しながら授業改善に取り組んでいます。

協議では、昨年度実施した中高合同教員研修の成果について紹介し、生徒がICTを活用しながら主体的に学び、対話や協働を通して課題解決に取り組む姿が見られるようになったことが報告されました。

また、授業改善や教員研修の成果を今後は他校へも普及できるよう、「教員研修パック」としてまとめていく構想について説明しました。

7 委員からの主な意見

- ・生徒が主体的に学ぶ授業づくりが進んでおり、今後の成果が期待される。
- ・中高一貫教育の強みを生かした取組が着実に進んでいる。
- ・国際的な視野を育成する取組を今後も大切にしてほしい。
- ・生徒の高い志や探究心を支える教職員の努力に敬意を表したい。
- ・教職員の働き方改革については、学校だけでなく地域や関係機関も支援していく必要がある。
- ・SSHをはじめとする特色ある教育活動は、本校の大きな魅力であり、今後も継続・発展させてほしい。
- ・生徒が「学校に来るのが楽しい」と感じられる教育環境づくりを進めてほしい。

8 今後について

委員からいただいた意見を今後の学校運営や教育活動の改善に生かし、地域とともにある学校づくりを推進していくことを確認しました。

なお、第2回学校運営協議会は、令和8年11月9日（月）に開催する予定です。